

Kei
トラ
×
庭師

動くkeiトラの 使い手たち!

Kei トラ

軽トラガーデンコンテスト
5月25～26日 高岡市おとぎの森公園
Photograph&Text Keisuke Noguchi



Keiトラの荷台で練り広げられる
庭師たちのガチンコバトル!

ココ最近、オシャレでカワイイ瓶や器なんかには植栽するミニ盆栽やミニサボテンが流行っているけれど……さらに上をいくディープな世界がコチラ! 今年で9回目となる「軽トラガーデンコンテスト」は、その名の通りKeiトラの荷台に本物の庭園を再現して、その美しさを競う大会。もともと富山県の凄腕植木職人たちが始めたイベントで、各々の腕前をもっと楽しく披露するためにKeiトラを使ったとのこと。普段現場で出来ない技やアイデアを投入可能とあって、年々レベルが高くなり、アメーzingな作品も増えている。そんな職人たち自慢の作品をいくつか紹介します!

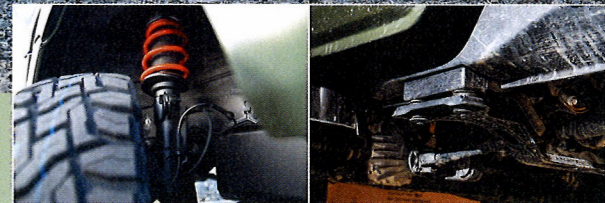
会場は富山県高岡市おとぎの森公園の敷地内で、計17台がエントリー。実はある程度作品を仕上げてから、そのまま自走で会場入りすること(笑)。当日は全国的に猛暑だったため職人たちは水やりで大忙し。イベントは2日間行われ、来場客による審査もあり盛況でしたよ!

動くKeiトラの 使い手たち!

ハードな現場でも負けないタフな足回り



足回りはアウトクラス謹製のオリジナル5インチリフトアップキットを使用。フロントは専用の強化ロングショック&ロングコイル、リアはアルミブロックやスタビプラケットなど専用パーツを多数使ってリフトアップし、ジムニーばりの走破性を実現! 同社が扱うスズキコンプリート車にも使用するキットなので信頼性はバツグンだ



トラブルに合わせて迅速かつ的確に対応!



2人の主な仕事はレンタル機材の整備。依頼があればすぐに現場へ行って即対応。大型のショベルカーも扱え、エンジン整備はもちろんアーム調整やバケットのツメ交換、キャタピラの交換など、ほとんどすべての整備を行うプロフェッショナルだ!

NEW 営業車のスーパーキャリイはそれぞれ2人の専用車なので、洗車や日々のメンテナンスなど個人の責任でしっかり行う。荷台には、基本的に自前の工具セットと重機専用の整備ツールなどを積載。重量物積載を考慮して荷台にはラプターライナーをペイントする。

スーパーキャリイを任せられたことで、仕事に対するモチベーションが上がったという2人。目立つクルマなのでお客さんからの注目度も増し、いい営業効果もあるとか。イカした営業車でガンガン活躍してちょーだい!



未来の会社、そして日本を担う若い2人!

喜多機械産業株式会社



大正15年に機械の修理業者として創業。その後、建設機械や土木資材の販売をスタートし、それらのレンタル業や発電業なども取り扱う複合専門商社として現在に至る。徳島を拠点に日本の経済をバッチリサポート!
<https://kitakikai.co.jp/>